2018 年度 東アジア文化都市 文化イベント交流事業 (清州開催) ~事業報告書~



1 事業名

東アジア文化都市文化イベント交流事業 (清州開催)

2 開催地

韓国・清州市

3 事業概要

(1) 趣旨

文化イベント交流は、2015年の日中韓の東アジア文化都市である新潟市、青島市、清州市で それぞれ行われる、独自文化を生かした文化イベントに芸能団を相互に派遣し合うことで、文 化を通じた相互理解を図るとともに、現地メディア等を通じて、それぞれの都市の文化の魅力 を広く発信するもの。

本交流の清州開催では、日中韓3か国共通の文化である「箸」にスポットをあて、芸能披露、展示会、シンポジウム、コンテストなどの記念行事を展開し、箸の文化的同質性と多様性を学ぶとともに「箸文化」を世界に向け発信する。2015年から毎年開催され、今回が4回目の開催。

(2) 主催

清州市文化産業振興財団

(3) 派遣期間

平成30年9月7日(金)~9月10日(月)

(4) 実施内容

「2018 箸フェスティバル」芸能公演、箸の展示イベントや箸コンテストへの参加

4 参加者

(1) 芸能団

新潟万代太鼓華龍 7名

(2) 行政団

新潟市文化スポーツ部 1名 新潟市文化スポーツ部文化創造推進課 1名

(3) 同行者

添乗員1名、通訳1名

5 日程

期日	時間	内容	
9/8(土)	9:00~	公演リハーサル	
	10:30~12:30	事前公演&開幕式	
	14:00~15:30	箸コンテスト	
	15:45~17:30	市内視察(清州市立美術館)	
	10:00~11:00	公演リハーサル	
9/9(日)	11:00~14:30	舞台公演・市民料理コンテスト	
		スターシェフ料理デモンストレーション&トーク	
	15:30~17:30	市内視察(清州市博物館)	

6 実施概要

9月7日(金)

○歓迎会

会場:自然食卓



清州市文化産業振興財団 安本部長あいさつ



新潟市芸能団あいさつ



店内の様子



日本食のメニューもあった

9月8日(土)

○事前公演・開幕式・公演

会場:東部倉庫



光州芸能団の事前公演



済州芸能団の事前公演



来賓紹介



清州市長挨拶



新潟市挨拶



国際箸文化協会会長挨拶



セレモニーの様子



新潟市芸能団の公演



清州市芸能団の公演



公演終了後の展示会場視察



日本の展示エリア



東アジア文化都市の説明



新潟市の展示 (日本エリア内)



水と土の芸術祭コラボ箸と鯛車



新潟漆器の展示



新潟漆器職人の紹介



新潟漆器展示



国際箸文化協会の展示 (日本エリア内)



国際箸文化協会の展示



国際箸文化協会の展示

○箸コンテスト 会場:東部倉庫



オセロの駒のようなものを移動する速さを競った

○清州市立美術館視察



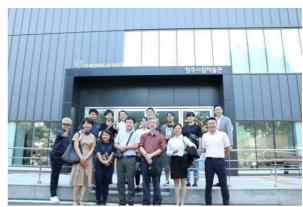
美術館職員が説明



視察の風景



視察の風景



集合写真

9月9日(土)

○市民料理コンテスト・公演

会場:東部倉庫



コンテスト前に韓国芸能団の公演があった



審査はユヒョンス氏



辛ラーメンの美味しさを競った



審査の様子



審査集計中に新潟市芸能団の公演



田村代表が見事3位に

○清州博物館視察



集合写真

○夕食会

会場:ソムソムオクス



会場の様子



キム副市長

7 メディア露出

	日付	メディア名	番組名	タイトル	備考
1	2018/7/30	チュンチョントゥデイ		チョンジュ 箸フェスティバル9月8日~16日	地方紙
2	2018/9/4	ジュンブ毎日		日常生活の道具 箸、世界が注目する文化になる	地方紙
3	2018/9/5	チュンチョン日報		爽やかな秋、お箸と共に	地方紙
4	2018/9/8	チュンチョン日報		2018箸フェスティバル開幕セレモニー	地方紙
5	2018/9/8	連合ニュース		韓中日2018箸フェスティバル開幕	全国局
6	2018/9/8	KBS	ニュース1	箸の価値、再発見… 2018箸フェスティバル開幕	全国局
7	2018/9/9	東洋日報		2018箸フェスティバル8日開幕	全国紙
8	2018/9/9	チュンチョントゥテ゛イ		チョンジュ 箸フェスティバル開幕	地方紙

8 成果

フェスティバル当日は、天気にも恵まれ多くの人が集まり、その中で新潟市の伝統芸能披露や伝統工芸品の展示を行うことで、本市の文化の魅力を多くの人々に知ってもらうことができた。また、清州市は毎回多くのマスコミが来場し情報を発信するため、本市の知名度の向上や情報発信に非常に効果的であった。

そのほか、箸コンテストや食事会に参加し、地元の人々や他の参加都市と交流を行うことで、 相互理解の深化に繋がった。